平成 24 年 7 月 25 日

各　　位

会 社 名　サイオステクノロジー株 式 会 社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　喜 多　伸 夫
（コード番号 3744　東証マザーズ）
問合せ先　執 行 役 員　小 林　徳 太 郎
電　　話　０ ３ － ６ ８ ６ ０ － ５ １ ０ ５

# 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年１月 31 日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 24 年 12 月期第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 24 年１月１日～平成 24 年６月 30 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | １株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円　銭 |
| 前回発表予想（A） | 2,500 | △140 | △140 | △145 | △1,672.36 |
| 今回修正予想（B） | 2,980 | △0 | △2 | △45 | △521.55 |
| 増減額（B－A） | 480 | 139 | 137 | 99 | － |
| 増減率（%） | 19.2% | － | － | － | － |
| （ご参考）前年同期実績（平成 23 年 12 月期第２四半期） | 2,457 | △158 | △159 | △167 | △1,936.67 |

２．平成 24 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年１月１日～平成 24 年 12 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円　銭 |
| 前回発表予想（A） | 5,300 | 20 | 20 | △20 | △230.67 |
| 今回修正予想（B） | 5,800 | 50 | 50 | 0 | 0.00 |
| 増減額（B－A） | 500 | 30 | 30 | 20 | － |
| 増減率（%） | 9.4% | 150.0% | 150.0% | － | － |
| （ご参考）前年同期実績（平成 23 年 12 月期） | 5,110 | △155 | △161 | △247 | △2,855.79 |

３．修正の理由

（１）第２四半期連結累計期間業績予想の修正理由

当第２四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、長引く円高や欧州の債務危機等により依然として先行き不透明な状況ではあるものの、国内景気は緩やかに持ち直しの傾向が見られます。

このような中、当第２四半期連結累計期間の売上高は、「LifeKeeper」(*1)や「Red Hat Enterprise Linux」(*2)、MFP 関連ソリューション(*3)、クラウドコンピューティング(*4)を活用したシステム導入支援が堅調に推移し、平成 24 年１月 31 日に公表した業績予想（以下、前回予想）を上回り、2,980 百万円（前回予想比 19.2%増）となる見込みです。

上記に加え、売上原価や販売費及び一般管理費において、コスト削減努力を継続したことにより、営業損失は０百万円（前回予想は営業損失 140 百万円）、経常損失は２百万円（前回予想は経常損失 140 百万円）、四半期純損失は 45 百万円（前回予想は四半期純損失 145 百万円）へそれぞれ修正します。

（２）通期連結業績予想の修正理由

当第２四半期連結累計期間の売上高が前回予想を上回る見通しであること、「LifeKeeper」や「Red Hat Enterprise Linux」が第３四半期以降も堅調な売上を見込めることから、通期連結業績予想の売上高を 5,800 百万円（前回予想比 9.4%増）へ修正します。

一方、売上原価や販売費及び一般管理費においては、クラウドコンピューティングやオープンソースソフトウェア(*5)に関連する既存ビジネス拡大、及びスマートフォン、SNS(*6)を活用した新たなビジネス創出に向けた研究開発や営業・マーケティングに係るコストが増加する見込みです。これらにより、営業利益は 50 百万円（前回予想比 150.0%増）、経常利益は 50 百万円（前回予想比 150.0%増）、当期純利益は０百万円（前回予想は当期純損失 20 百万円）へ前回予想を修正します。

(*1) LifeKeeper
米国子会社 SIOS Technology Corp. （旧 SteelEye Technology, Inc.）の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担う HA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(*2) Red Hat Enterprise Linux
世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発する Linux OS。

(*3) MFP 関連ソリューション
平成 21 年から提供を開始した MFP(Multi Function Peripheral の略、1 台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAX などの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。)上で操作できる文書管理ソフト「Quick スキャン」等。

(*4) クラウドコンピューティング
コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(*5) オープンソースソフトウェア
ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(*6) SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）
Social Networking Service の略。インターネット上での社会的つながりを促進・サポートするサービス。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。また、上記金額は百万円未満切捨で表記しており、増減率は円単位で計算した後に小数点以下第２位四捨五入で表記しています。

以上